

新年号

令和5年1月1日発行
編集責任者 宮原祐子

アトオス通信

1月の花ことば
キンギョ草
おしゃべり
おしゃべり
おせっかい



こんにちは！株式会社のぐちです！新しい年となりました。今年も大沼からのダイヤモンド筑波で始まりました。今年は驚くほど大勢の人が集まり、幸せを分け合いました。1月9日はクイズの日だそうです。「とんちの一休さん」の1と9だとか…最近裏面のクイズがなくて寂しいといった声もあるそうなので、今年こそは頑張ります。最近流行っているナンプレというパズル。何やら数字が並んでいてタテヨコには同じ数字が入れないとナ…ジグソーパズルやクロスワードは難なくこなせますが、今年はナンプレに挑戦！これもぼけ防止のリハビリと思い楽しむことにしました。一緒にチャレンジしませんか？それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。



株式
会社
のぐち



1月の歳時記

「人日の節句」（じんじつのせつく）

人日の節句とは？「七草粥（ななくさがゆ）」を食べる日。1月7日は七草粥を食べて、一年間元気で過ごせるようにと願う日です。古代の中国では、1日に鶏、2日に狗（犬）、3日に猪、5日に牛、6日に馬、7日に人、8日に穀を占う風習がありました。それぞれの日にはその動物を殺さないように、7日には犯罪者に対する刑罰を行わないことになっていました。その日が晴天ならば「吉」、雨天ならば「凶」の兆しであるとされていて、7日の人日には邪気を祓うために、7種の若草を入れた粥を食べ、一年の無病息災を祈ったと言われています。一方日本では、年の初めに若菜を摘んで新しい生命をいただく「若菜摘み（わかなつみ）」という習慣がありました。平安時代に中国の吸い物を食べる習慣が日本に伝えられたことと、若菜摘みの伝統が相まって、「人日の節句」「七草の節句」ができあがったと言われています。その後江戸時代になると、幕府の公式行事となり、庶民の間にも広がりました。最近ではスーパーの青果売り場で「七草セット」が見かけられますね。お正月のご馳走で疲れた胃腸を労わるものだと思っていましたが、こんなに古い歴史があったなんて…「七草」侮れません。「せりなずなごぎょうはこべらほとけのざすずなすずしろはるのななくさ」呪文ではありませんよ！

では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

セーラーインクペン3色セット

100色以上のラインアップがあるセーラーの万年筆用ボトルインク『万年筆用ボトルインク インク工房 染料 20ml』から色を選んでペンにしました。適度なコシのある筆タイプと、細かい書き込みに最適な細字のツインタイプのマーカーです。インクボトル や インクカートリッジではなく ペンに入ったインク。万年筆やつけペンを使わなくても、ボトルインクを少量ずつ楽しめる筆記具のかたち。それぞれのイメージで3種を組み合わせました。[潮風の奏]「たった今小さな港から大海へ旅立つ船を歓迎して、甲板に吹き付けた潮風の奏。」[夕風の調]「航跡の彼方で夕日に迎え入れられる船を見守り、港を静かに包む夕風の調。」夢が膨らみます！「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみして下さいね。



希望小売価格 900 円（税別）



スタッフ登場
昨年暮れに、我が家の古い食器棚を処分しました。中のものをすべて出して、ついでに使わなくなった鍋・釜や小型家電、御祝返しに頂いた瀬戸物や、金物等。部屋に広げて、いる！いらない！チョット可哀そうかな…と思いましたが、使わないで置いておく方がもっとかわいそうだ！と勝手にどうしたものかと思いましたが、すくっと欲しかった、憧れのアラジンのグラフィイトーンスター。あのウグイス色の、よくテレビドラマの小物で登場するあのアラジンのトーンスター。どうしよう、ああしよう、こうしようとう往復どしましたが、クリスマスプレゼントをくれる人もいないし、お年玉をくれる人もいないし、えらい自分への御褒美だ！と買ってしまっています。今はまだ使わずに眺めています。し・あ・わ・せ！
業務・宮原でした。

